



# 第二種 衛生管理者

公表問題

## 解答解説

平成29年10月版

(株)ネクストウイング  
神戸市須磨区高倉台2-15-11  
TEL 078-754-5557  
<http://www.nextwing.jp>

# 平成29年10月公表問題

## 関係法令

- 問1 **【2】**  
(1) 14日である。  
(3) 少なくとも4人選任しなければならない。  
(4) 専属でない労働衛生コンサルタント1人のみしか認められない。  
(5) 「労働者数が1,000を超える事業場においては少なくとも1人の専任の衛生管理者を選任しなければならない。」のみの規定しか定められていない。遡増式の規定はない。
- 問2 **【5】**  
「事業者に対し、労働者の健康管理等について必要な勧告をすること」は、産業医の権限として定められている。衛生管理者の職務としては「健康障害防止」や「健康の保持増進」の措置に関することは定められているが、事業者に対して勧告する権限までは定められていない。
- 問3 **【1】**  
議長を除く「半数」を事業場の労働組合又は労働者の過半数を代表する者の推薦に基づき指名しなければならないとされている。全員ではない。
- 問4 **【3】**  
(1) は20才以上は省略可能 (2) (4) (5) の検査項目は35才及び40才以上は必須項目であるが、その他の年齢のものに関しては医師の判断により省略出来る。(5) の尿検査(腎臓検査)は年齢に関わらず必須項目である。
- 問5 **【3】**  
(1) 全ての事業者ではなく5常時50人以上の事業場の事業者である。要するに産業医が選任されている事業所である。  
(2) ストレスチェックの結果は、原則ストレスチェックを受けた本人のみである。  
(4) 面接指導を受けることを希望する該当労働者のみである。  
(5) 事業が保存する場合は、5年間保存しなければならない。
- 問6 **【1】**
- 問7 **【5】**  
事業に付属食堂に従事する労働者の便所と休憩室は専用のものが必要である。これは一般の労働者と混合にすると有害物を取り扱っている事業場では、炊事従業員の衣服及び身体に有害物が付着し、食物に混入する可能性があるからである。炊事従業員は隔離しなければならない。
- 問8 **【4】**  
2ヶ月以上使用する場合は、1ヶ月以内ごとに1回点検しなければならない。
- 問9 **【2】**  
(1) 20日である。  
(3) 出勤として参入しなければならない。  
(4) 消滅時効は2年間である。  
(5) 平均賃金の100分の100である。
- 問10 **【4】**  
深夜業は除外規定がなく、管理監督の方にも適用される。

## 労働衛生

問11【2】

問12【5】

基準未満ではなく、基準以上である。

問13【5】

- (1) 1ルクスは光度1カンデラからの光源から1m離れた所で、その光に直角な面が受ける明るさに相当する。
- (2) 照明効果をよくするために白色又は白色系が望ましい。
- (3) 陰影がある方が立体感が出て作業がしやすくなる。
- (4) 10分の1以上が正しい。

問14【4】

- (1) 含まれる。
- (2) 産業医ではなく運動指導担当者が行う。
- (3) 栄養指導は、栄養指導担当者が行う。
- (5) 事業場内でスタッフが確保できない場合は、外部の機関に委託して実施するのが望ましい。

問15【2】

- (2) 以外の4事項が推進すべきケアとされている。

問16【4】

5分ではなく10～15分が正しい。

問17【3】

脈を打つように「ピュッ、ピュッ」と血が噴き出し、短時間に多量の血液を失うので速やかな止血処置が必要となる。

問18【2】

複雑骨折とは、骨折とともに、皮膚、皮下組織等が損傷し、骨折端が外界と交通しているもので、折れ方そのものが複雑だという意味ではない。

問19【4】

腸炎ビブリオ菌は病原性好塩菌と呼ばれ海水に生息している菌で、魚介類に付着して洗浄が悪いと感染する感染型食中毒である。毒素の強い神経毒を産生する菌はボツリヌス菌である。

問20【3】

心筋での酸素需要を高め、心筋の虚血（心筋に酸素が十分供給されない状態）を意図的に誘発することによって異常の有無を調べることができる。

## 労働生理

### 問21【1】

- (2) フィブリノーゲンがフィブリンに変化する現象が、血液の凝固反応である。
- (3) 赤血球ではなく血小板である。
- (4) 白血球ではなく赤血球である。
- (5) 血小板ではなく白血球である。

### 問22【5】

心筋は横紋筋でできている。

### 問23【3】

### 問24【5】

一酸化炭素ではなく二酸化炭素である。

### 問25【5】

- (1) 体温調節中枢は、間脳の視床下部である。
- (2) 同調性ではなく恒常性である。
- (3) 血管を縮小させ体温を温存する。
- (4) 10gではなく100gである。

### 問26【3】

複数の尿管ではなく1本の尿管である。

### 問27【5】

消化管の運動を抑制する。

### 問28【3】

硝子体ではなく、水晶体が正しい。

### 問29【2】

ストレス反応として血糖量の増加を促進させるホルモンが、副腎皮質及び副腎髄質から著しい分泌が見られる。

### 問30【2】

メラトニンは脳の松果体から分泌され生体リズムの調節を行っている。  
副腎髄質と出ればアドレナリンで血糖量の増加と覚えよう。